

# 小川敏夫参議院選候補から推薦依頼がありました

【7月参議院選挙・出馬にあたって】

腐敗政治が、相次いで摘発される政治の世界、長期低迷が続く崩壊の不安さえ現実味を帯びてきた経済、そして、社会とは言えば異常な事件の多発など目的感を喪失してしまったかの状況であります。

日本のこうした行き詰まりは、政治家が本来あるべき姿勢を忘れ、政治家自身やその周辺の利益だけを求めてきたこれまでの利権政治に根本原因があると思います。

そして驚くべきことは、こうした危機的状況を招いた政治家が国民に何の説明もせず、反省もしないまま居座ろうとしている事です。

私は、日本の今日の危機的状況を招いた利権政治に立ち向かい、「政界の鬼検事」となって、この排除に努めます。

また、経済の建て直しも、6兆円減税など景気刺激策を実現するとともに、経済の行き詰まりの根本原因である行財政の改革を断行し、国民が「これから良くなる」という自信を持てるような行政の在り方を実現して、冷え切った投資及び消費マインドを喚起することによって実現したいと思います。

そして、会社や工場や商店など様々な職場で働き生活する市民の立場に立ち、情報が正しく国民に伝えられる政治を実現して政治に対する国民の信頼を

取り戻し、日本を今日の困難な状況から建て直したいと思います。

【小川敏夫のプロフィール】

- ・1948年3月18日 東京都練馬区で生まれる。
- ・1960年3月 練馬区立豊玉第二小学校卒。
- ・1963年3月 練馬区立豊玉第二中学校卒。
- ・1966年3月 立教高等学校卒。
- ・1970年3月 立教大学法学部卒。
- ・同年 司法試験に合格。
- ・主な職歴…静岡地裁裁判官、東京地検検事、立教大学法学部講師。
- ・現職…弁護士。 年齢…49歳。

【推薦理由】

私に小川敏夫氏からここの参議院東京地区選に立候補するにあたり「平成維新を実現する都民の会」の推薦を頂きたいと依頼がありました。私としてはすでに次期衆議院議員選のために会で推薦している事もあり、全く異論はなく、自信をもって推薦する次第です。まじめで正義感の強い、努力家です。当選の暁には、必ずや皆様のご期待に沿えるものと確信しています。会員の皆様のご理解をお願い申し上げます。

1998年4月吉日

平成維新を実現する都民の会代表 治田桂四郎

## 練馬区議員報酬アップ中止の申し入れ

平成維新東京5区・エリアマネージャー 治田桂四郎

練馬区の区長や議員の報酬アップ中止申し入れを3月2日午前、岩波区長と浅沼議長に提出しました。又、その後で、東京新聞・読売新聞・日本経済新聞・毎日新聞・サンケイ新聞・朝日新聞に掲載をFAXで依頼しました。

〇〇新聞社都内版担当殿

前略、突然、FAX申し上げますが、実は、練馬区では、今度、区長や議員の報酬を上げる答申がออกมาして、今月5日に議会に提案されます。今の時期に全く、理解できない事なので、本日午前中に、岩波区長と浅沼議長に下記のような中止申し入れ書を提出してまいりました。

つきましては、貴紙にこの件を掲載していただき、練馬区民他に今行われようとしている、区の愚挙に歯止めの支援を期待したいと思います。何とぞ、ご配慮の程、お願い申し上げます。 敬具

――（始まり）――

練馬区長 岩波三郎殿

練馬区議会議員 浅沼敏幸殿

区長、区議会議員等の報酬引き上げの中止に関する申し入れ書現在の練馬区政を取り巻く社会状況は、極めて、厳しいものがあります。そのような状況の中で区長ならびに区議会におかれましては、行政改革実施計画を策定し、財政の健全化に向けての取り組みをされている事は、高く評価すると同時に敬意を表します。

今、区が行っている行政改革の中には、私達の負担が増加するものもありますが、この困難な時代ですから、共に痛みを分かち合うべきと考えておりま

す。しかしながら、先日、練馬区の特別職報酬審議会が開催され、区長、助役、収入役、教育長と議長はじめ区会議員の報酬を昨年4月にさかのぼり、引き上げるとの答申が出されたと聞いております。

新聞報道によりますと江東区では、今年2月に開催された報酬審議会で「区や区民を取り巻く状況は、大変きびしく、これらを勘案した場合、今回は、改定を見送る事が、適当である」との答申をしたとの事です。又、杉並区、北区等7区で同様に見送る旨の答申が出されております。又、板橋区議会では、正副議長の報酬5%カットを今年度実施、更に来年度も継続して行うようにとの答申をしております。更には、報酬審議会そのものを区長が、招集しなかった区も6区ありました。

又、墨田区では、来年度から報酬の5%カットを実施すると報道されております。

現在の練馬の状況を考える時、この報酬引き上げを区民がどのように受け止めるとお考えでしょうか。到底、区民の理解は、得られるものではないと思います。行政と議会が危機感を持っている事を区民に示す事で、はじめて、行政改革は、実を結ぶものと思いますが、今度の答申は全く逆の事やろうとしています。

以上の事から、報酬の引き上げは、中止すべきだと思います。ここに、強く中止を申し入れる次第です。平成10年3月2日

平成維新を実現する都民の会5区(練馬・豊島区)

エリアマネージャー 治田桂四郎

――（終わり）――